

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表日：令和5年3月10日

事業所名：ジュニアスペース・らいぶ堀川三条

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			法令遵守し、十分なスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	8			法令で必要とされる配置数に加え、1名以上の加配職員を配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		2	6	玄関の段差等設備で補えない部分はスタッフによる配慮を行っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	4		週次ミーティングの開催を徹底し、日々の支援の振り返りと各種目標達成を行います。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	2		評価表に基づくアンケートの他、イベント開催時にもアンケートを実施し保護者のニーズの把握に努めています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			ホームページに公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2		以後検討致します。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	4		外部研修終了後、参加者がフィードバックを行い、資質向上に努めています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	4		サービス計画策定前に保護者アンケートや面談、支援会議を実施しニーズを踏まえ計画作成を行っています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4	2	車内で統一したツールを使用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	3		指導員・児童発達支援管理責任者が意見を出し合い、個別・集団に応じたプログラムの立案を行っています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			週ごとに実施内容を変更しています。また同一プログラム内でも児童の特性に合わせた調整も行っています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1		平日、学休日で支援内容に変化をつけています。特に、学休日は外出支援やお買い物の練習する機会を増やす等、活動の幅を広げています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2		保護者面談の上、必要な支援内容から優先順位を付けてサービス計画を作成しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	3		支援開始前に当日利用児童について引継ぎや申し送りを行い役割分担を行っています。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	16	2		6	支援終了後には当日の支援内容の振り返りを行い、次回支援のための打ち合わせを行っています。	
	17	6		2	担当者による記録のブレが出ないよう評価の主観性と客観性のバランスがとれるよう研修を行っています。	
	18	8			6ヶ月毎にモニタリング・アセスメントを実施し、計画見直しを行っています。	
	19	5		3	基本活動を複数組み合わせ、日々の支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	7		1	児童発達支援管理責任者及び指導担当者が参画させていただいています。	
	21	8			各学校お迎え時にお子様の状況や情報の共有をさせていただいている他、必要に応じて関係機関が集まっての会議などを行わせていただきます。	
	22			5	3	医療的ケアが必要な児童は現在利用していません。
	23	4		2	2	就学前児童に関しては児童発達支援事業所と連携し必要に応じて情報共有などの連携を行っています。
	24	2		4	2	・受け入れが中学生までなので現時点での以降実績はありません。
	25	7		1	専門機関の実施する研修等には積極的に参加しておりますが、今後より一層連携を深めさせていただけるよう体制を整えてまいります。	
	26			2	6	コロナ禍等の理由により現時点で交流は行っていないですが、今後ご要望があれば、検討していきます。
	27	5		2	1	職責を問わず、参加させていただいています。
	28	8				連絡帳や送迎時保護者との対面時間、また定期面談の際に共通理解を持てるように努めています。
	29	3		3	2	ペアレントトレーニングができるよう社内研修を行いよりよい助言が出来るように努めています。
保護者への説明責任等	30	6		1	1	契約時に説明を行うとともに事業所内にも掲示しています。
	31	5		2	1	送迎時やお電話、メール、連絡帳などでの相談にも応じ必要ならば面談を行っています。
	32	3			5	コロナ禍にて実施ができておりませんでした。が、感染症対策を行い、参観等で交流する機会・場を設定させていただきます。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		社内で苦情解決フローを策定し、苦情があった際には迅速な対応を行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			毎月翌月の活動内容や当月の支援の様子がわかるフライヤーを作成、配布を行っています。
	35	個人情報に十分注意しているか	8			個人情報に関わる書類、データは規定に則って保存しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		お子様・保護者様に応じた意思疎通・情報伝達を心掛けています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			8	コロナ禍において出来ておりませんが、今後イベントなどの交流機会を作っていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			マニュアルを策定し、職員間で共有しております。避難訓練実施に、具体的な対応等について保護者様への周知します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			法令に基づき、年2回避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			外部研修を受講した職員が内部研修を行い、適切な対応を心掛けております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			契約時の説明他、必要に応じて支援計画に盛り込んでおります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	4		契約時保護者様よりアレルギーの有無を聞き取り、対応しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	3		ヒヤリハットでの多い事例や緊急度の高い事例などは研修にて共有し、業務改善に努めております。